

## 「子どもの防犯に関する特別世論調査」の概要

平成 18 年 8 月  
内閣府政府広報室

- 調査対象 全国 20 歳以上の者 3,000 人  
有効回収数：1,834 人（61.1%）  
調査期間 平成 18 年 6 月 22 日～7 月 2 日
- 調査目的 子どもの防犯に関する国民の意識を調査し、今後の施策の参考とする。
- 調査項目 (1) 子どもの犯罪被害の不安  
(2) 子どもの防犯のために効果的と思う地域や家庭の取り組み  
(3) 地域の防犯活動への参加の意向  
(4) 政府に望む防犯対策

<お願い>

本資料の内容を引用された場合、その掲載部分の写しを下記宛にご送付ください。

内閣府大臣官房政府広報室  
世論調査担当

〒100-8914 東京都千代田区永田町 1 - 6 - 1  
電話 03(5253)2111 内線 82780～82783

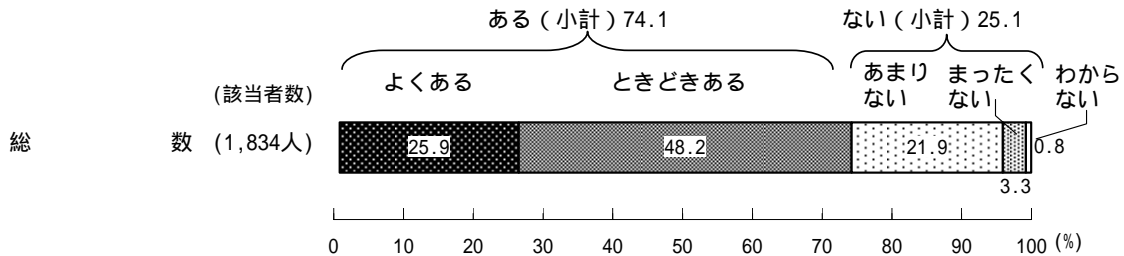
# 「子どもの防犯に関する特別世論調査」の要旨

平成 18 年 8 月  
内閣府政府広報室

調査時期：平成 18 年 6 月 22 日から平成 18 年 7 月 2 日  
調査対象：全国 20 歳以上の者 3,000 人  
回収結果：1,834 人 (61.1%)

## 1 子どもの犯罪被害の不安 (1) 子どもの犯罪被害の不安

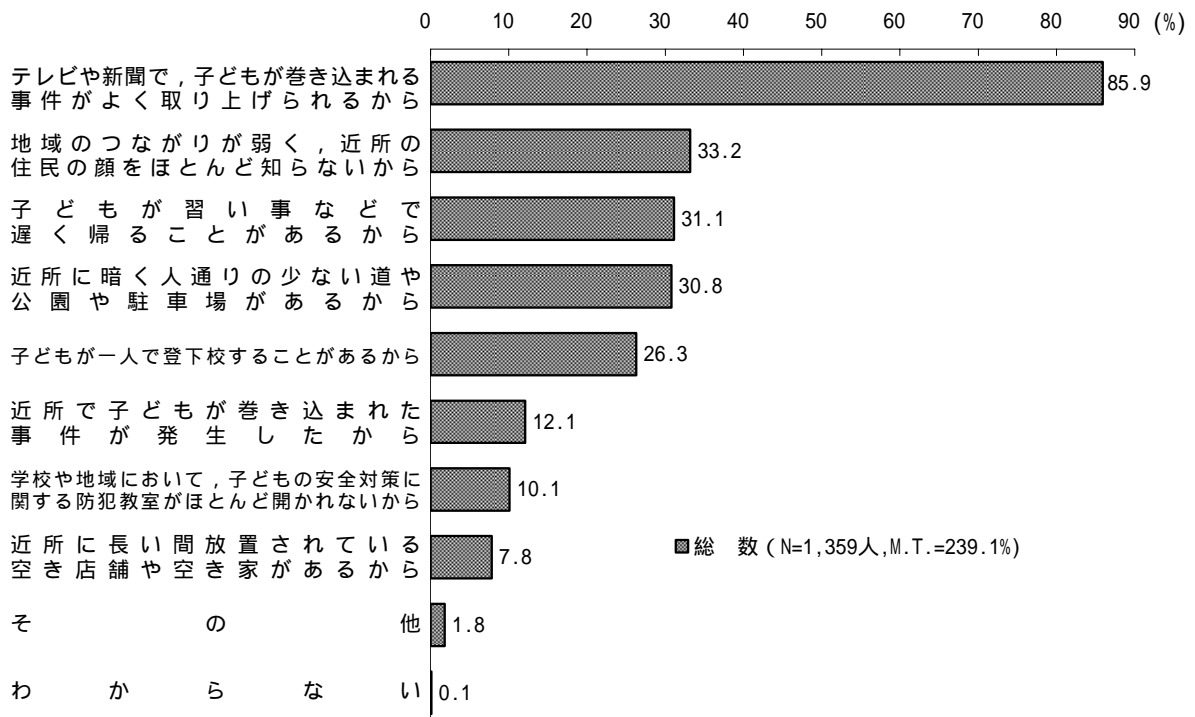
	平成 18 年 6 月
・よくある	25.9%
・ときどきある	48.2%
・あまりない	21.9%
・まったくない	3.3%
・わからない	0.8%



## (2) 不安になる理由

(不安になることが「よくある」、「ときどきある」と答えた者(1,359人)に複数回答)

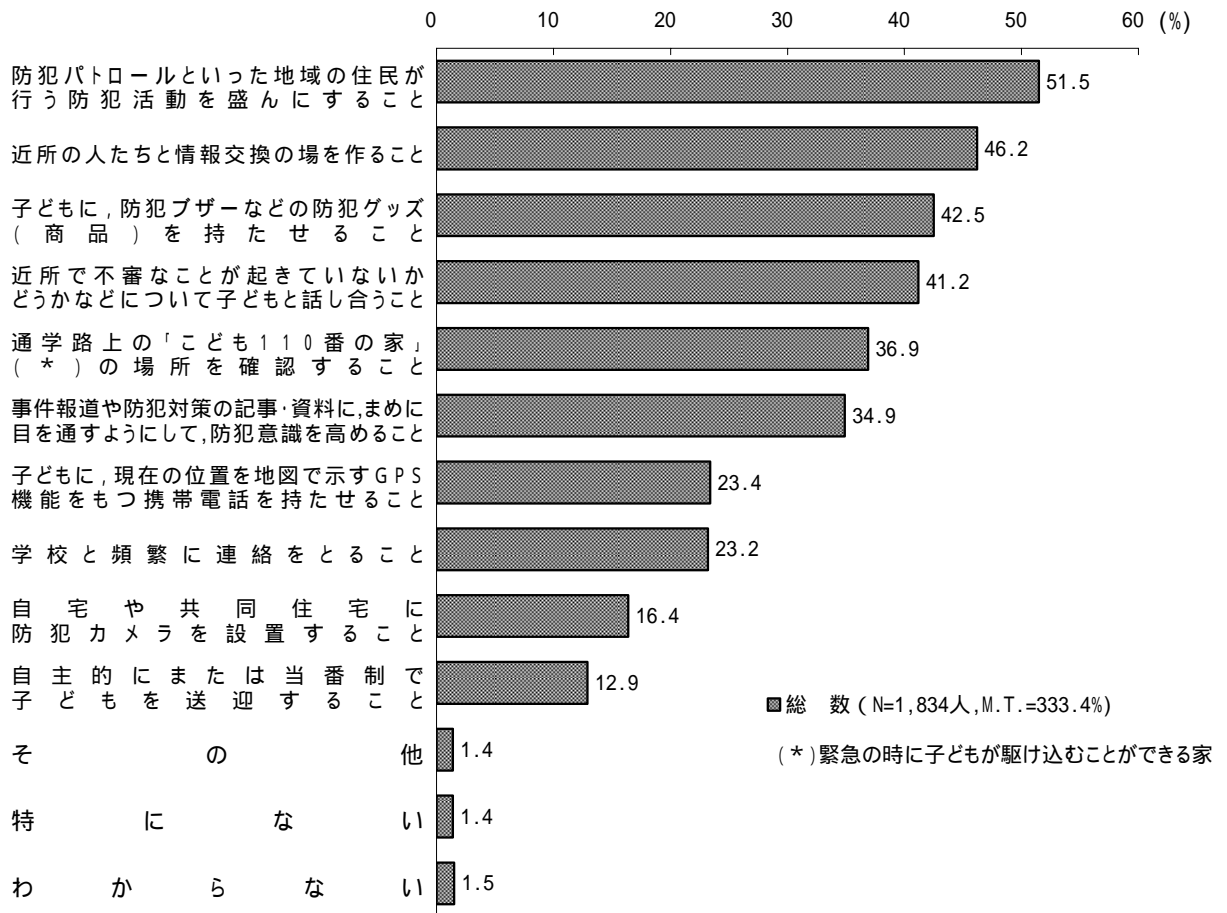
	平成 18 年 6 月
・テレビや新聞で、子どもが巻き込まれる事件がよく取り上げられるから	85.9%
・地域のつながりが弱く、近所の住民の顔をほとんど知らないから	33.2%
・子どもが習い事などで遅く帰ることがあるから	31.1%
・近所に暗く人通りの少ない道や公園や駐車場があるから	30.8%



## 2 子どもの防犯のために効果的と思う地域や家庭の取り組み（複数回答）

平成 18 年 6 月

- ・ 防犯パトロールといった地域の住民が行う防犯活動を盛んにすること 51.5%
- ・ 近所の人たちと情報交換の場を作ること 46.2%
- ・ 子どもに、防犯ブザーなどの防犯グッズ（商品）を持たせること 42.5%
- ・ 近所で不審なことが起きていないかどうかなどについて子どもと話し合うこと 41.2%

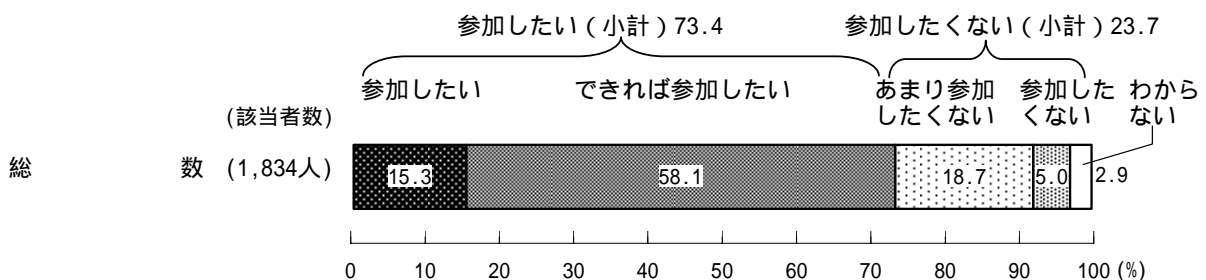


## 3 地域の防犯活動への参加の意向

### (1) 地域の防犯活動への参加の意向

平成 18 年 6 月

- ・ 参加したい 15.3%
- ・ できれば参加したい 58.1%
- ・ あまり参加したくない 18.7%
- ・ 参加したくない 5.0%
- ・ わからない 2.9%

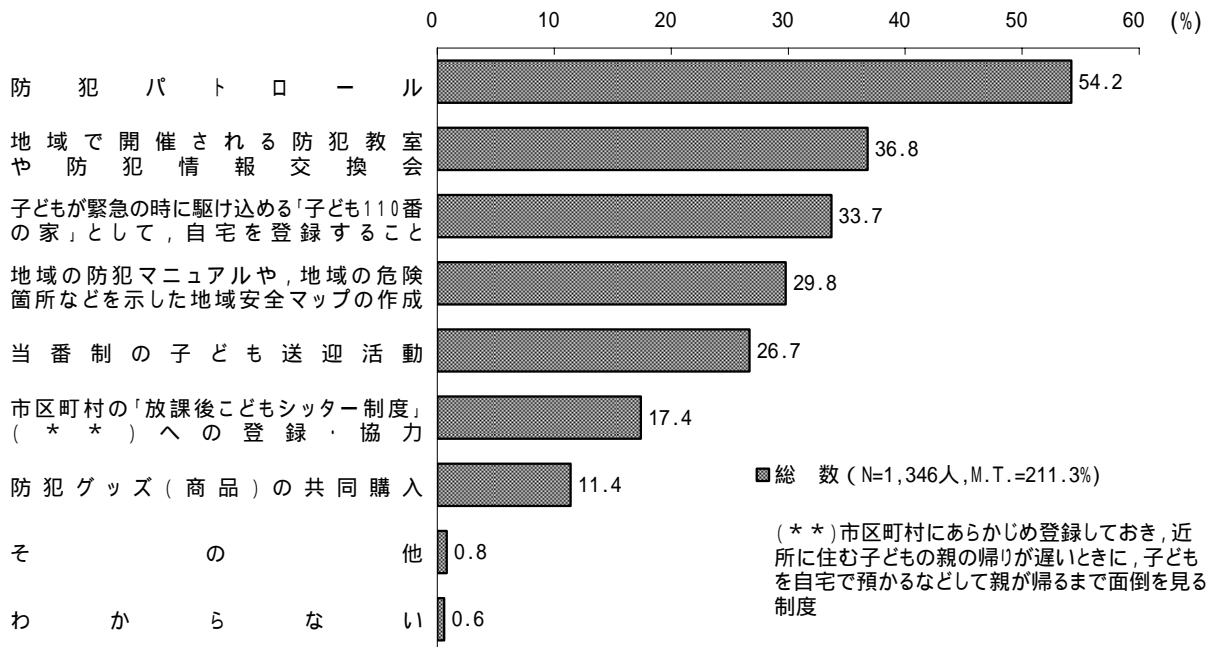


(2) 参加したい地域の防犯活動

(防犯活動に「参加したい」、「できれば参加したい」と答えた者(1,346人)に、複数回答)

平成 18 年 6 月

- ・ 防犯パトロール 54.2%
- ・ 地域で開催される防犯教室や防犯情報交換会 36.8%
- ・ 子どもが緊急の時に駆け込める「子ども110番の家」として、自宅を登録すること 33.7%
- ・ 地域の防犯マニュアルや、地域の危険箇所などを示した地域安全マップの作成 29.8%

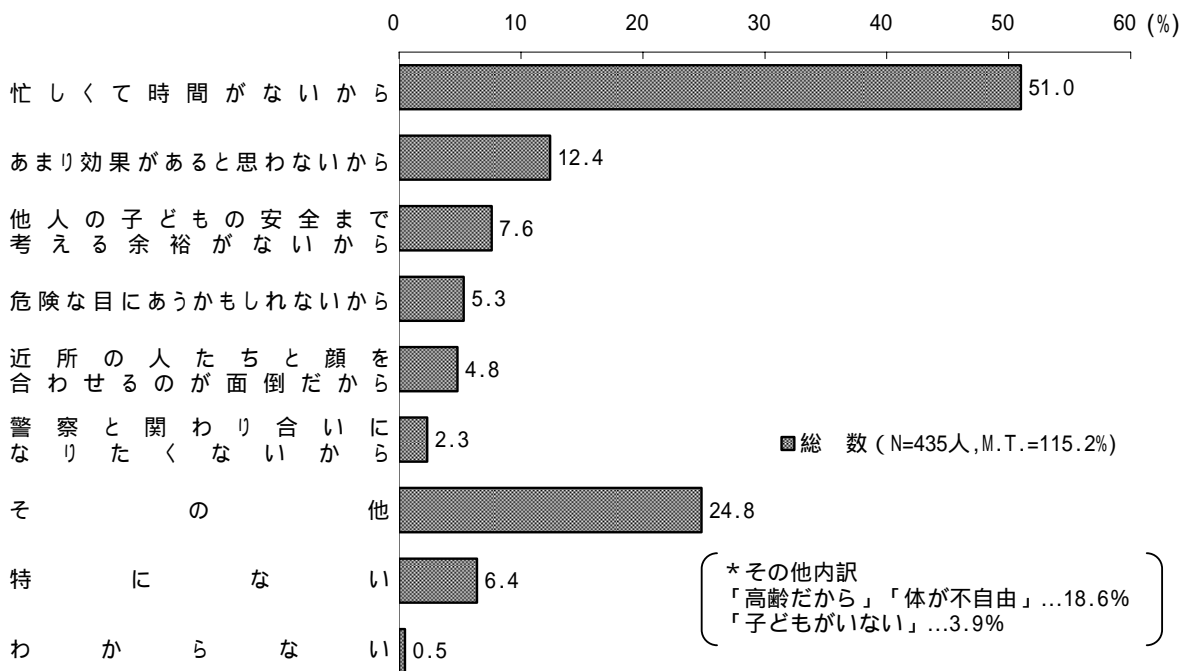


(3) 地域の防犯活動に参加したくない理由

(防犯活動に「あまり参加したくない」、「参加したくない」と答えた者(435人)に、複数回答)

平成 18 年 6 月

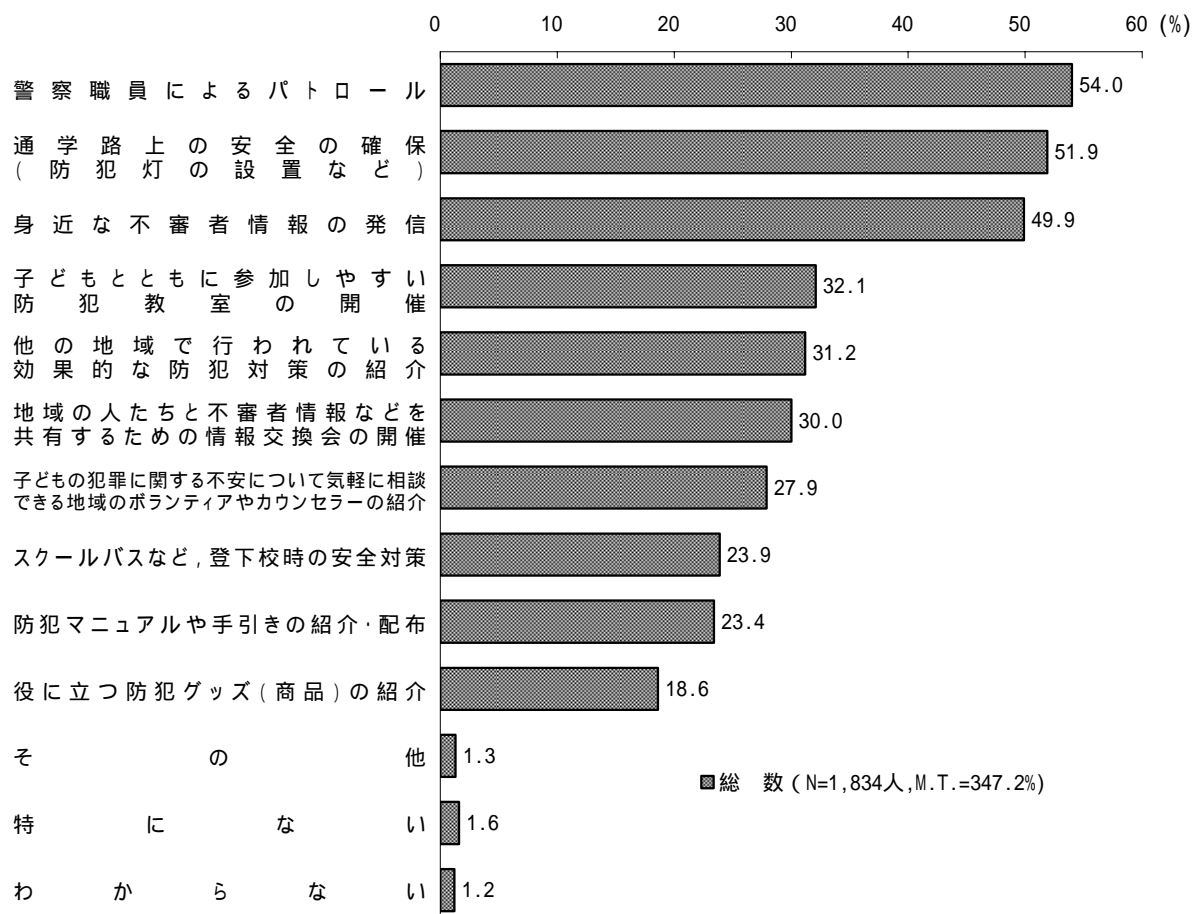
- ・ 忙しくて時間がないから 51.0%
- ・ あまり効果があると思わないから 12.4%
- ・ 他人の子どもの安全まで考える余裕がないから 7.6%
- ・ 危険な目にあうかもしれないから 5.3%



#### 4 政府に望む防犯対策（複数回答）

平成 18 年 6 月

- ・警察職員によるパトロール 54.0%
- ・通学路上の安全の確保（防犯灯の設置など） 51.9%
- ・身近な不審者情報の発信 49.9%
- ・子どもとともに参加しやすい防犯教室の開催 32.1%



## 子どもの防犯に関する特別世論調査

調査時期：平成 18 年 6 月 22 日から平成 18 年 7 月 2 日  
調査対象：全国 20 歳以上の者 3,000 人  
回収結果：1,834 人 (61.1%)

平成 18 年 8 月

話は変わりますが、次に、子どもの防犯についてお聞きします。主に小学生を念頭に置いてお答えください。

Q 1〔回答票24〕あなたは、あなたの身近にいる子どもたちが、何らかの犯罪に巻き込まれるかもしれないという不安を感じることがありますか。この中から 1 つだけお答えください。

(25.9)	(48.2)	(21.9)	( 3.3)	( 0.8)
(ア)	(イ)	(ウ)	(エ)	
よくある	ときどきある	あまりない	まったくない	わからない

→ (Q 2 へ)

S Q〔回答票25〕子どもたちが犯罪に巻き込まれるかもしれないと不安になるのはなぜですか。この中からいくつでもあげてください。(M・A・)(N=1,359人)

(85.9) (ア) テレビや新聞で、子どもが巻き込まれる事件がよく取り上げられるから  
(12.1) (イ) 近所で子どもが巻き込まれた事件が発生したから  
(30.8) (ウ) 近所に暗く人通りの少ない道や公園や駐車場があるから  
( 7.8) (エ) 近所に長い間放置されている空き店舗や空き家があるから  
(31.1) (オ) 子どもが習い事などで遅く帰ることがあるから  
(26.3) (カ) 子どもが一人で登下校することがあるから  
(10.1) (キ) 学校や地域において、子どもの安全対策に関する防犯教室がほとんど開かれないから  
(33.2) (ク) 地域のつながりが弱く、近所の住民の顔をほとんど知らないから  
( 1.8) その他( )  
( 0.1) わからない

(M・T・ = 239.1%)

(全員に)

Q 2〔回答票26〕あなたは、子どもを犯罪から守るために、地域や家庭の取り組みとしてどのようなものが効果があると思いますか。この中からいくつでもあげてください。(M.A.)

- (34.9) (ア) 事件報道や防犯対策の記事・資料に、まめに目を通すようにして、防犯意識を高めること
- (42.5) (イ) 子どもに、防犯ブザーなどの防犯グッズ(商品)を持たせること
- (23.4) (ウ) 子どもに、現在の位置を地図で示すGPS機能をもつ携帯電話を持たせること
- (41.2) (エ) 近所で不審なことが起きていないかどうかなどについて子どもと話し合うこと
- (16.4) (オ) 自宅や共同住宅に防犯カメラを設置すること
- (36.9) (カ) 通学路上の「こども110番の家」(緊急の時に子どもが駆け込むことができる家)の場所を確認すること
- (46.2) (キ) 近所の人たちと情報交換の場を作ること
- (12.9) (ク) 自主的にまたは当番制で子どもを送迎すること
- (23.2) (ケ) 学校と頻繁に連絡をとること
- (51.5) (コ) 防犯パトロールといった地域の住民が行う防犯活動を盛んにすること
- ( 1.4) その他( )
- ( 1.4) 特にない
- ( 1.5) わからない

(M.T. = 333.4%)

Q 3〔回答票27〕子どもを犯罪から守るために、地域の住民などが協力して防犯パトロールや防犯教室などを行っているところがあります。あなたは、こうした地域の防犯活動に、参加したいと思いますか。

(15.3)	(58.1)	(18.7)	( 5.0)	( 2.9)
(ア)	(イ)	(ウ)	(エ)	
参加したい	できれば参加 したい	あまり参加 したくない	参加したくない	わからない
↓		↓		↓
(SQ a へ)		(SQ b へ)		(Q 4 へ)

S Q a〔回答票28〕地域の防犯活動のうち、どのような活動に参加したいと思いますか。この中からいくつでもあげてください。(M.A.)(N=1,346人)

- (36.8)(ア) 地域で開催される防犯教室や防犯情報交換会
  - (11.4)(イ) 防犯グッズ(商品)の共同購入
  - (26.7)(ウ) 当番制の子ども送迎活動
  - (29.8)(エ) 地域の防犯マニュアルや、地域の危険箇所などを示した地域安全マップの作成
  - (33.7)(オ) 子どもが緊急の時に駆け込める「子ども110番の家」として、自宅を登録すること
  - (17.4)(カ) 市区町村の「放課後こどもシッター制度」(市区町村にあらかじめ登録しておき、近所に住む子どもの親の帰りが遅いときに、子どもを自宅で預かるなどして親が帰るまで面倒を見る制度)への登録・協力
  - (54.2)(キ) 防犯パトロール
  - (0.8) その他( )
  - (0.6) わからない
- (M.T.=211.3%)

S Q b〔回答票29〕地域の防犯活動に参加したくない理由は何ですか。この中からいくつでもあげてください。(M.A.)(N=435人)

- (51.0)(ア) 忙しくて時間がないから
  - (12.4)(イ) あまり効果があると思わないから
  - (4.8)(ウ) 近所の人たちと顔を合わせるのが面倒だから
  - (7.6)(エ) 他人の子どもの安全まで考える余裕がないから
  - (2.3)(オ) 警察と関わり合いになりたくないから
  - (5.3)(カ) 危険な目にあうかもしれないから
  - (24.8) その他( )
  - (6.4) 特にない
  - (0.5) わからない
- (M.T.=115.2%)

\* その他内訳  
「高齢だから」「体が不自由」...18.6%  
「子どもがいない」...3.9%

(全員に)

Q 4〔回答票30〕子どもの防犯のために、政府に取り組んでもらいたいと思う対策は何ですか。この中からいくつでもあげてください。(M.A.)

- (49.9)(ア) 身近な不審者情報の発信
  - (31.2)(イ) 他の地域で行われている効果的な防犯対策の紹介
  - (23.4)(ウ) 防犯マニュアルや手引きの紹介・配布
  - (18.6)(エ) 役に立つ防犯グッズ(商品)の紹介
  - (27.9)(オ) 子どもの犯罪に関する不安について気軽に相談できる地域のボランティアやカウンセラーの紹介
  - (32.1)(カ) 子どもとともに参加しやすい防犯教室の開催
  - (30.0)(キ) 地域の人たちと不審者情報などを共有するための情報交換会の開催
  - (51.9)(ク) 通学路上の安全の確保(防犯灯の設置など)
  - (54.0)(ケ) 警察職員によるパトロール
  - (23.9)(コ) スクールバスなど、登下校時の安全対策
  - (1.3) その他( )
  - (1.6) 特にない
  - (1.2) わからない
- (M.T.=347.2%)